

## 会 議 録

会議名	山形市総合教育会議
開催日時	平成30年8月2日（木） 10:30～12:00
開催場所	山形市役所3階 庁議室
出席者	佐藤孝弘市長、荒澤賢雄教育長、須賀まり子委員、無着道子委員、白鳥樹一郎委員、中村篤委員
（陪席）	庄司新一総務部長、伊藤尚之企画調整課長、折原啓司財政部長、鈴木悦子子育て推進部長
（事務局）	阿部謙一教育部長、高橋勇管理課長、土田亮一施設整備室長、金沢智也学校教育課長、大山敬弘スポーツ保健課長補佐、中村由美社会教育青少年課長
報告・協議事項	報告事項 （1）山形市の児童・生徒の現況について （2）学校施設整備の方針について 協議事項 （1）ICT環境整備の推進について

### 会議経過

1. 開 会 （岡管理課長補佐）

2. 挨拶 佐藤市長・荒澤教育長

3. 報 告 （座長 佐藤市長）

#### (1)山形市の児童・生徒の現況について

**資料を用い、金沢学校教育課長より説明。**

<質疑応答>

**【佐藤市長】**

全国学力学習状況調査の結果について、昨年度は小学校算数の点数が低かったが、今年は全国平均よりも高くなっている。

原因があると思うが、具体的にどのような対策を行ったのか。

**【金沢学校教育課長】**

具体的に一つの対策の効果ということではなく、校長会で調査の結果を報告し、

意識付けを図ったことによる各学校における取組の成果、また、探求型学習に取り組んできた成果が表れてきたものと考えている。

## **(2)学校施設整備の方針について**

**資料及びpptを用いて、高橋管理課長より説明。**

<質疑応答>

**【須賀委員】**

中学校の空調設備改修について、すべての教室に空調が設置されているのか。

**【高橋管理課長】**

原則、普通教室と特別支援学級の教室にはすべて設置しており、その他、音楽室や職員が常駐する部屋に設置している。

**【佐藤市長】**

この猛暑で学校のエアコン設置が話題になっているが、小学校へのエアコン設置については、国が補正予算で予算措置を検討しているところである。

そうした状況を受けて、出来る限り対応したいと考えている。

## **4. 協 議 （座長 佐藤市長）**

### **(1)ICT環境整備の推進について**

**鎌田総合学習センター副所長よりpptを用いて説明。**

**実際にタブレットを用いた模擬授業も行う（山形市ICT支援員等含む）。**

<意見交換>

**【佐藤市長】**

この会議における協議は、何かを決定するというのではなく、幅広く色々な意見を聞き、それについて意見を交換する意味合いであるため、皆様からそれぞれの意見を伺いたい。

まず私から只今の説明について、意見を述べさせていただきます。

今も模擬授業を受けたが、モデル校である第八小学校の教員の感想にもあったとおり、ICT教材は有効に利用すれば授業が充実したものになると感じた。

大事なことは、現在3校で行っているモデル事業における研究結果から、効果的な授業のノウハウを確立、教員が共有し、本格導入に生かすという準備段階の作業であると思われる。

また、ICT機器は便利である一方で、情報中毒や、自分の都合の良い情報だけを受け取ってしまうという負の側面もあるので、対応が必要である。

今の子ども達はネット環境に慣れているので、そのような情報モラルもしっかり教えれば理解してくれるのではないかな。

**【荒澤教育長】**

数字だけを見ると、国が提唱する目標値には達していないため、山形市のICT

T環境整備は遅れていると捉えられてしまう。

しかし、私は山形市のICT環境は強みも持っていると思っている。

ひとつは、大型提示装置、50型テレビが全学級に設置されていることである。

どうしても電子黒板が話題に上るが、50型テレビでも画像・動画等を電子黒板並みに活用することが出来るため、これが全学級に設置されていることは大変良い環境と言える。

ふたつ目は、超高速インターネット環境が全学校に整備されていることである。

ある自治体でタブレットを目標値通りに導入したが、ネット環境が超高速ではなく、せつかくのタブレットも通信速度が遅くてあまり活用できていないという事例も聞いている。

3つ目は、ICT支援員を17年前から導入していることである。

導入人数は目標値に達していないが、長年蓄積してきた学校との関係、ノウハウは大きな強みと言える。

このように、山形市はICT教育を導入する環境のベースは既に出来ており、今後のICT整備の切り札がタブレットであると考えている。

小学校はWi-FiとLTEのどちらを導入するか検討が必要である。

一方、中学校はWi-Fi環境が必要であると考えられ、その財政措置については、教育分野以外の、防災目的や経済産業省等、様々な国の補助制度があるようなので、調査の必要があると考えている。

また、市長がおっしゃるように、便利になる反面、情報モラルへの教育も重要になるため、しっかり取り組んでいきたい。

#### 【須賀委員】

まず、今までは山形市のICT教育環境整備は着実に進んでいるという印象だったが、目標値に達していないということを知り、認識を改めなければと思った。

先程の模擬授業で飛び箱の比較動画があったが、言葉だけで伝えられるよりも何倍も分かりやすく、ICT機器は有効であると感じた。

そのため機器を利用できない学校があれば、教育格差が生じてしまう。整備には費用が掛かるが、是非とも頑張っていたいただきたいと思う。

授業以外でも、ICT機器導入により、資料印刷等の教員の授業準備も楽になり、負担軽減も図ることが出来る。また、教員の大量定年退職に伴い、若い教員が増えてきているが、彼らはICT機器に慣れているため、教員としての経験不足を、ICT機器の活用で補うことができるという側面もあるのではないかと。

一方、情報モラルだけでなく、長時間画面を見ていることによる眼への影響や睡眠障害など、健康面への影響も検討していただき、対応をお願いしたい。

#### 【無着委員】

模擬授業を受けたが、実感しやすく、ICT機器は大変有効であると感じた。

以前、特別支援学級でICT機器を活用した授業を見たことがあるが、文字を書くことが困難な子どもでもタブレットなら書くことが出来ていた。このような意味でも大変有効である。

教育長から、ICT支援員とは長い期間で作ってきた繋がりがあると話があったが、人員を増員できればより充実するのではないかと思う。

現在モデル事業を行っており、今後本格導入となるが、大規模校と小規模校で環境に格差が生じないようにしていただきたい。加えて、学校内においても、授業での利用頻度や内容について、格差が生じないようにしていただきたい。

また、モデル事業では効果が上がるものだけではなく、マイナス面も生じると思うが、そこにも確実に対応して欲しい。

情報モラル教育もより一層重要になるとされる。須賀委員からもあったように、脳や体の、健康面に悪影響が出ないか、研究していただきたい。

#### 【白鳥委員】

個人的な話だが、先日台湾に旅行した際、ほとんど全員がスマホを使っている光景を目にした。また、シンガポールにも行ったことがあるが、シンガポールはICT教育に力を入れて目覚ましい発展を遂げた国でもる。

そこからは、世界的にICT化は進んでおり、山形市の子ども達も、義務教育を修了した時点で、PCを容易に操作することが出来るようになり、ICTを活用する力を身に付けておかなければならない、と感じたものである。

ICTが活用できれば、子ども達にとっても教員にとっても学習の幅が広がる。整備には予算の問題があるが、まずは目標値に拘らず、授業をする1学級の子全員がタブレットを使えるように出来れば良いのではないかと。

情報モラルについては、ネットの情報には真実だけが書いてあるとは限らないという危険性の教育も重要である。情報モラル教育に関しては、教員への研修にも力を入れていただきたい。

#### 【中村委員】

ICT環境整備には2つの方法があると思う。

ひとつは、機器である「モノ」のサポートである。

もうひとつは「ヒト」のサポートである。

国立大学ではCIOというICT環境を推進するチーフを置いており、人的サポートを整備している。人から教えてもらうことは重要であり、山形市のICT支援員は非常に有効であると感じた。

中学校1年生の娘が、自宅でiPadを使っていたので、自分で購入したのかと思って聞いたら、塾から配布されたとのことであった。

民間では、ICT機器がここまで浸透しているのかと驚いたものである。

娘もかなり興味を持って機器を使っており、子ども達のICTへの関心は高い

ものがある。国が求めるIT人材の養成のためにも、環境整備に期待したい。  
一方で、情報モラル教育等、マイナス面への対応も必要になってくる。  
手書きの機会が減る、読書をしなくなるということが考えられる。  
また、ネットで調べれば簡単に答えが出てくることに慣れると、深く考えたり  
することがなくなり、短絡的な思考になってくるのではないかと心配である。

#### 【佐藤市長】

委員の皆様からも様々なご意見があった。  
やはり、有効である一方、健康への影響など、負の側面も生じてくる。  
どんな施策にも言えることだが、負の側面にも対応し、負の影響を抑えながら  
有効活用していくことになるだろうと考える。  
ネットは検索してすぐ答えが出るから知識が増えないという意見もあるが、ど  
のように検索するか、ある程度知識が無いと探し方も分からなくなる。  
環境の問題ではなく、有効な活用の仕方が重要である。  
今日の模擬授業も、ライブ感覚で、とても良かったと思う。特に、児童生徒全  
員の回答をすぐに一画面で見ることが出来るため、色々な考えを共有できる。  
手を挙げられない引っ込み思案な子の意見も拾ってあげることが出来る。  
現在のモデル事業において、最適な台数や環境、教員の授業方法の共有など、  
全体の運用のノウハウをしっかりと確立し、有効な活用を目指していきたい。

### 5. その他

<岡管理課長補佐>

今後の総合教育会議の持ち方については、昨年度同様、下半期に今年度第2回目  
の会議を開催することとし、具体的な開催時期・テーマについては、今後協議して  
決定していきたい。

### 6. 閉会 (岡管理課長補佐)